

伊南行政組合 昭和伊南総合病院 新病院建設基本計画(案) パブリックコメント結果と回答について

【募集期間】令和4年12月26日(月)～令和5年1月25日(水)
 【周知方法】概要版の伊南全戸配布、広報ほほえみ、病院ホームページ
 【閲覧場所】昭和伊南総合病院、伊南各市町村役場、病院ホームページ
 【実施結果】提出者数 17人(個人17)
 提出方法 持参 2、メール 11、郵送 2、FAX 2
 提出意見 40件

項 目		件数
全体計画	全体計画	1
	病院理念・基本方針	1
	新病院整備の基本方針	3
	新病院の機能・規模	5
部門計画	入院部門	7
	化学療法部門	1
	患者総合支援センター	2
	在宅療養支援部門	1
	管理事務部門	3
施設整備計画	施設整備方針	8
	計画条件等	6
医療情報システム整備方針	今後の展望	2
計		40

【伊南行政組合の考え方】

今後の検討課題	27	
基本計画(案)の主旨に一致	3	
その他(質問、現状への意見等)	9	
反映する意見	1	
計		40

No.	中項目	小項目	意見等	伊南行政組合の考え方	変更の有無 (関連ページ)
全体計画					
1	全体計画	全体計画	<p>昭和伊南総合病院は、経営不振に陥り困難の淵にあったところから今日までに立ち直って来ました。その過程では、15年以上にわたっていくつもの計画や方針が練られ、変更され、より良いもの必要なものが作成され続けました。そして、それに沿って病院職員の皆さんが、たくさんの工夫、様々なご苦労と経験をしながら力を尽くしてこられました。また、新型コロナウイルスにより、これまでになかった感染症の経験も踏まえました。</p> <p>新病院計画は、その経過を経たからこそのものであると感じます。「新病院を建設するため」の形だけの計画ではなく、これまでの経験と経過をしっかりと踏まえた上に作られた、十分に自信を持って良い内容の計画だと思います。「これからの伊南に必要とされる良い病院が出来る」と楽しみにしております。</p>	<p>【その他】</p> <p>新病院建設は莫大な費用を伴う40～50年に一度の大規模な事業です。将来にわたり住民の皆さんに必要とされる伊南地域の基幹病院であり続けるために、経営改革の推進と経営の効率化を図り、伊南行政組合構成市町村の協力を得ながら安定した病院経営を目指してまいります。</p>	無 P4
2		病院理念・基本方針	<p>病院名称を「令和伊南総合病院」にしてはいかがでしょうか。</p>	<p>【今後の検討課題】</p> <p>ご提案につきましては、新病院の運用等を検討する際に参考とさせていただきます。</p>	無 P4
3	新病院整備の基本方針	地域医療を支える病院	<p>近隣の医療関係との機能分担や連携の強化は大変重要だと思います。また病気の専門性において、症状によって必要ならば他病院(県内・県外)への紹介を速やかにして頂けるようお願いいたします。患者が安心して相談でき、病院の専門性をいかして良きアドバイスをいただける病院としてしっかり機能していただきたいです。</p>	<p>【基本計画(案)の主旨に一致】</p> <p>新たに設置する患者総合支援センターを軸に連携強化を図り、引き続き伊南地域の基幹病院としての機能を維持してまいります。</p>	無 P5
4		健康を守る予防医療を提供	<p>昨今、合成洗剤や柔軟剤の香料、除菌・消臭スプレーに含まれる“マイクロカプセル”が、公共の場、住宅街、人の集まる場所どこでも漂っている“香害”問題を引き起こしています。まず学校や病院、介護などの公共施設では“フレグランスフリーゾーン”にしていただきたいと思います。宝塚市では「すべての人が快適に過ごせる空間、人権が尊重されるまちづくりにつながる」として、今後取り組む予定。「化学物質過敏症」で医療や手術を受けられない人は昨今増えており、「化学物質過敏症」対策としてフレグランスフリーを掲げることで、他県から受診する人が出てくるかもしれません。</p>	<p>【今後の検討課題】</p> <p>ご意見は、今後の設計段階や新病院の運用を検討する際の参考にさせていただきます。</p>	無 P5

5		人材の確保と育成	待遇の悪さ、医師の離職に伴う特別な資格を持った看護師の離職。それ相応の待遇にすれば人材も集まってくるのではないのでしょうか。スタッフの減少や医療のひっ迫から、残ったスタッフ体調を崩し無期療養休暇をとっているのが現実。それによりさらに残ったスタッフへの負担がかなり大きい。朝は患者の情報収集のために始業1時間くらい前には出勤し、業務量の多さから残業も生じている状態。質のいい医療を提供するためにもスタッフへの待遇も考えてほしい。	【今後の検討課題】 IT等を活用した業務負担の改善を継続検討していきます。施設・設備による職場環境の向上の他、新病院における運用についても現場も交えて検討を実施する予定です。	無 P5
6	診療科		総合診療科があると、とてもありがたいです。医師不足などの問題はあるかと思いますが、複数の症状がある時に、たらい回しになることがあるので、大変困ってしまいます。	【今後の検討課題】 ご意見は、今後、新病院の運用を検討する際の参考とさせていただきます。	無 P5
7			【整形外科】現状常勤医はひとりしかおらず、迅速な対応は難しいと考えられる。整形外科入院患者も一人の医師が管理しているが管理しきれていないようにも思える。高齢化に伴い受傷による骨折は多く、手術を望む声は大きいと考えられる。さらなる専門医の確保を期待したい。		無 P9
8	新病院の機能・規模	病床数・病床構成	病床数全体的なことで、感染症で入院患者が減少したのは事実ではあるとおもふ。しかし医療を必要としていた人は多い中で感染拡大防止のための受け入れ停止による患者減少、とも思えるが、この病床数の規模設定は医療の需要とみあっているのか。上伊那の入院できる施設も限られていることを考えると今後十分な医療が提供できるのか、という点で心配がある。上記の観点含め医療がひっ迫している中での病床の削減は心配。	【その他】 伊南地域における将来患者推計を鑑みながら検討を進めてきました。受入れ停止による影響も少なからずありますが、現状でも病床が空いている状況です。将来を踏まえさらなる病床数の縮小という話もありながら今の需要に合わせた病床数を整備することで十分な医療提供ができると考えています。	無 P6
9			病院のベッドのサイズを現在のものより大きくして欲しい。2回ほど入院しお世話様になりました。その際、ベッドの横幅が狭く寝返りの時など窮屈でした。もう少し幅広いベッドにしたい。	【今後の検討課題】ご意見は、今後、物品の購入を具体的に検討する際の参考にさせていただきます。	無 P6

10			<p>病床規模を現在稼働病床239床から199床とするとの計画を見ました。最適化を図るとのことですが、将来的な見通しが折り合わなかったときや、今回のウィルス感染症による緊急時などを鑑み、将来的な見通せない世の中になってきていることから、この差の40床以上について、個室の面積を大きくし、もしもの時には2人部屋として使える(余裕を持った広さで)ような設計にしたらどうでしょうか。せっかくの莫大な資金を使うわけですので、いろいろな対応の柔軟さを持てるような設計にすることを提案します。</p>	<p>【今後の検討課題】 伊南地域における将来患者推計を鑑みながら検討を進めてきました。現状、病床が空いている状況です。将来を踏まえさらなる病床数の縮小という話もありながら今の需要に合わせた病床数を整備することで十分な医療提供ができると考えています。ご意見は、今後、設計の発注段階で検討を行う際に参考とさせていただきます。</p>	無 P6
----	--	--	--	---	---------

部門計画

11	入院部門	一般急性期病棟	<p>現状一般急性期45床ほぼ満床状態であり、病床数の減少により適切な医療を受けられないのではないかと？</p>	<p>【その他】 伊南地区の将来人口推計や医療需要と実績データを照らし合わせ試算し検討してきました。コロナによる入院患者受入れ停止による影響も少なからずありますが、現状でも病床が空いている状況です。将来を踏まえさらなる病床数の縮小という話もありながら需要に合わせた病床数を整備することで十分な医療提供ができると考えています。 人口減少や疾病構造の変化、将来の医療需要に柔軟に対応し、地域の医療機関や介護、福祉との連携を強化しつつ病床数の最適化を図っていきます。ただし病床構成については、今後の受療動向や医療政策等の影響により設計段階で変更する可能性はあります。</p>	無 P14
12		ICU	<p>現在12床で回しているが、手術が必要な患者も増加傾向にある中での床数減少は厳しいと考えられる。</p>		無 P14
13		回復期リハ病棟	<p>リハビリ病床の減少を検討しているがリハビリ必要者もたくさんおり、急性期病棟でのリハビリを行っているのが現状に思えるが病床数の減少は妥当なのか。</p>		無 P14
14		地域包括ケア病棟	<p>計画では3床の増加を検討しているが、在宅や施設待機患者は増加傾向にあるため不足が考えられる。</p>		無 P14
15		機能概要	<p>完全個室化により寂しがる患者の増加や患者どうしの交流が減ると思う。人同士の関わりも減少して認知機能の低下が心配。</p>		<p>【今後の検討課題】 昨今の病院施設は個室化割合の増加、完全個室化が多くなっています。基本計画段階では、基本全室個室化としていますが、今後、設計の発注段階でさらに検討を行う予定です。ご意見は検討の際の参考にさせていただきます。</p>

16		上伊那で入院できる施設も限られており、在宅医療にも限界がある。いくらサービスや医療を入れても家族の負担が大きすぎると考えられ、今後が心配。	【今後の検討課題】 高齢者の一人暮らし等高齢者のみの世帯が増加しており社会的な課題と認識しています。医療、介護、福祉の連携に係る医療政策に沿って、医療機関としての立場で今後検討していく際の参考にさせていただきます。	無 P14	
17		地域の拠点病院として急性期治療や臓器ごとの機能回復訓練について充実した施設計画になっていると思います。入院患者に高齢者が多いことから、早期からの生活リハビリや入院生活の充実のための設備、例えば院内デイなどがあると良いと思います。	【今後の検討課題】 ご意見は、設計の発注段階や新病院の運用、病院機能、設備等を検討する際の参考とさせていただきます。	無 P14 P33	
18	化学療法部門	患者のプライバシーを確保したスペースを整えるという基本計画に同意します。これからのがん患者は、若年者や壮年期の方は仕事の継続に悩む方も増えると考えられます。患者総合支援センターを設置する計画がありますが、化学療法を受けるために来院した際に、患者があちこち動く必要がなく化学療法のエリアで療養相談を行うことができるよう治療スペースに加えて相談室を確保していただくよう希望します。	【今後の検討課題】患者動線を可能な限り短縮することを目指しています。設計の発注段階や設計段階で十分に検討していきます。	無 P23	
19	患者総合支援センター	必要諸室	近年は様々な生活背景を持つ患者が増えてきていると思います。そのような方が治療を入院して受けるだけでなく、医療を受けながら在宅で生活していく方は今後ますます増えると考えます。地域に開かれた病院として、地域医療と地域福祉との連携による一体的な支援が展開できる患者総合支援センターを期待しております。設置場所については「隣接または一体的構造」と書かれています。一体的構造にすることにより医療従事者側にとっては連携体制を取りやすくなると思います。しかし、患者や家族の支援関係者にとっては、隣接の方が利用しやすくなることも考えられます。上伊那地域における在宅療養支援機能を高めるために当センターの構造面の検討を入念に行っていただくことを期待します。また今後は、病気とともに生きる患者が増えると思いますので、当センターには患者・家族の交流や学習ができるスペースの整備を期待いたします。外来患者と付き添いのご家族の相談対応においては、プライバシーが守られる個室の相談室を設けていただくと、安心して相談を受けることができると考えます。さらに、ケア用品や福祉用具の展示・販売と手に取って試すことができるような相談コーナーを設けていただくと、患者・家族の生活の質の向上につながると考えます。これまで病院の中で介護保険申請がスムーズにできるなど、地域包括支援センターと連携されてこれ、患者・家族にとっては、申請が一力所でできるので大変助かっていると思います。今後もその機能を維持していただき、患者・家族が分かりやすい場所で、車いすでもゆとりを持って移動できるスペースを設けてくださると、より便利で相談しやすいと考えます。	【今後の検討課題】 ご意見は、患者総合支援センターや相談室等を具体的に検討する設計の発注段階や新病院の運用、病院機能、設備等の検討段階で参考にさせていただきます。	無 P40 P41

20			<p>入退院支援業務のことですが、以前入院して退院するとき、その日に言われ、その日に退院しました。何の準備もしてなくて家族がない私には大変嫌な思いをしました。担当の看護師さんが荷物をどこどこに預けておいてもいいですから退院してくださいとのことで冷たい対応でした。そんなにもしなければいけないのでしょうか。冷たい看護師さんだなと思いました。退院までの計画があるのなら事前に言ってもらいたいです。</p>	<p>【今後の検討課題】 ご意見は、現病院におきましても患者さんに安心して退院していただけるよう病院運営を検討する中で参考にさせていただき、今後も患者さん中心の医療を提供できるよう十分な説明をしていくよう努めてまいります。</p>	無 P40
21	在宅療養支援部門	基本方針・必要諸室	<p>24時間の体制を構築され、訪問看護ステーションが位置づけられていることで、今後の在宅療養支援の充実が期待できるものと思います。特に訪問看護ステーションの指定を受けて運用を図ることは、療養者と家族への支援がより安定的に提供され、安心した療養生活を送ることにつながると考えますので、訪問看護は事業所の指定を受けていく計画は賛同いたします。今後訪問看護のニーズは一層高まっていくと考えられます。それに相まって看護教育でも訪問看護や在宅療養支援に関する学習内容が増えてきています。当部門の施設設備の検討におかれましては、看護学生が学習できる物理的環境も考慮していただくようお願いいたします。また訪問看護は各家庭を訪問するため病院内で行う方法とは異なる感染予防対策が必要となります。訪問看護スタッフと利用者の両方の安全を守るためにも、訪問看護活動の特性を考慮した感染予防対策がとれる設備を検討していただくこと期待します。在宅療養支援部門が、リハビリテーション部門、患者総合支援センターと連携されることで、より退院後の療養支援の充実が期待できます。「私たちの使命」や「基本方針」の中で、良質で安定した医療や切れ目ない医療介護サービスを提供する要となることが謳われておりますので、看護のスペシャリスト(専門看護師や認定看護師等)が院内外で活動して下さるような組織的な取り組みや連携を期待します。特に、在宅療養支援部門と看護のスペシャリストとの連携によって、より質の高い療養支援ができることを期待します。</p>	<p>【今後の検討課題】 新病院整備の基本方針における人材の確保と育成を踏まえ研究、研修スペース等は整備する方向ですが、その規模等については今後設計の発注段階で具体的に検討していきます。院内感染のみでなく在宅医療における感染対策につきましては新病院の運用、病院機能、設備等を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	無 P42
22	管理事務部門	部門配置計画	<p>都内等の病院では、レストランやカフェが大変充実しています。病院はただ患者が治療を受けに行く施設だけでなく、精神的な豊かさや癒しのある場所として機能して欲しいです。待ち時間もゆったり過ごせ、ミニコンサートを開いたり、ミニギャラリーがあったりと、患者や家族にとって癒しの場所であって欲しいです。</p>	<p>【今後の検討課題】病院利用者や職員のサービス向上を図るための付帯施設は、利便性や経済性の観点を踏まえ、売店や自動販売機、イートインスペース、休憩スペースを設置する計画としています。設置場所、規模等については設計の発注段階で検討します。ご意見はその際の参考にさせていただきます。</p>	無 P46
23			<p>食堂は高層階に設けてほしい。現在は地階で暗い。中央アルプスや美しい田園風景が望める最上階に設けていただきたい。</p>		無 P46

24	管理事務部門	必要諸室	<p>看護学生の実習環境の整備もお願いしたいと思います。現在、実習が重なった場合は、昼食やカンファレンスの際に、研修室の使用時間を調整しながら活用させていただいておりますが、その確保が難しい場合があります。具体的には、1つの研修室を少なくとも15人程度の学生が控室兼休憩室として使用しています。そのため、毎日行われる実習目標・内容確認、教員と学生間のカンファレンスにおいて、適切な学習環境が整いにくい問題が生じております。また、学生の昼休憩の際においても一定期間に複数人の学生が休憩に入るため、コロナ禍における感染対策が講じにくい問題も生じております。そこで病棟内に看護学生が専用で使用することのできる部屋の整備をお願いしたいと思います。病棟内にカンファレンスができる場所(部屋)の確保をお願いできますと、学生と看護実践の振り返りや記録の指導などに活用ができると考えます。また、ナースステーション内に看護学生が記録等を記載できるスペースや学生が使用できる駐車場および更衣室の確保も合わせてご検討いただけますと幸いです。今後の実習におきましてもご配慮のほどお願い申し上げます。</p> <p>令和2年3月30日に出された「大学における看護系人材養成のあり方に関する検討会 第2次報告 看護学実習ガイドライン」には、実習施設の役割が明記され、「学生を受け入れるにあたっては、大学と十分な調整を行い、連携・協働による指導体制を構築して、実習環境を整備する」と記されております。また「本看護学実習ガイドラインは、大学における看護系人材の養成に関し、各大学に主となる責務があるとしながらも、実習先にも大学と連携・協働しながら、共に学生を育てていく重要な役割があるという前提の下に作成されている」と述べられております。新病院建設にあたり、さらに実習のための充実した教育環境を整える機会になることを期待しています。ぜひこの度の新病院建設にあたり、看護系人材の養成を考慮した施設整備のご検討をお願いいたします。</p>	<p>【今後の検討課題】</p> <p>新病院整備の基本方針における人材の確保と育成を踏まえ研究、研修スペース等は整備する方向ですが、規模等詳細については今後設計の発注段階で具体的に検討していきます。ご意見は、その際の参考にさせていただきます。</p>	無 P46
----	--------	------	---	--	----------

施設整備計画

25	施設整備方針	<p>新病院整備の基本方針の(5)に、教育体制、プログラムの充実、働きやすい環境を整えることが述べられています。これらの実現のために、第3章の1. 施設整備方針に「人材の確保と育成を考慮した施設整備」を追加していただき、教育研修棟、あるいは教育研修センターの施設整備を検討していただくことを期待します。具体的施設: シミュレーションルーム、研修生・実習生専用の更衣室、控室、カンファレンスルーム。シミュレーションルームは、在職している医療職全般の継続教育に活用できるとともに、実習生・研修生が実際の患者に関わる前に実施する技術を確認することができるなど、大変有用な施設となります。研修生、実習生専用の施設は、複数の大学、専門学校、同一学校の複数実習が重なっても、滞りなく研修や実習を進めることができます。県内では、飯田市立病院に「実習棟」があり、見本の一つになると思います。</p>	<p>【反映する意見】 P47 施設整備方針へ「整備方針7」として人材の確保と育成を考慮した施設整備を加えます。施設設備については、今後設計の発注段階で検討します。ご意見はその際の参考にさせていただきます。</p>	有り P47
26		<p>「医療従事者のための教育・研修環境」の整備は大変重要と考えます。整備におかれましては、医療のDXはどんどん進んでいくと考えられますので、ICT の環境整備をお願いしたいと思います。また、貴院で実習する看護学生がカンファレンス等で使わせていただけることを期待いたします。</p>	<p>【今後の検討課題】ご意見は、今後設計段階や新病院の運用を検討する際に参考とさせていただきます。</p>	無 P47
27	施設整備方針	<p>治療において個室でゆったり過ごしたい方、感染管理面、認知症やせん妄などで大声が出る患者の管理、プライバシーの保護、医療的処置のしやすさといった面ではメリットではあるが、一方で同室者同士の会話などが励みとなっている患者もいらっしゃる。また、完全個室化により高齢者への刺激が少なくなり認知機能の低下が懸念される。看護師の動線としても大きな変化が生じ、ケアや処置、検温により多くの時間がかかることとなりスタッフへの負担が増えてくると考えられる。【完全個室化】とまではせず、個室の割合の増加、といったことはどうだろうか。また、「家のように畳で横になりたい」といった患者さんもいた。畳スペースなどの検討はどうだろうか。</p>	<p>【今後の検討課題】 昨今の病院施設は個室化割合の増加、完全個室化が多くなっており、看護師の動線等への配慮を採用していくことを想定しています。基本計画段階では、基本全室個室化としていますが、今後、設計の発注段階で具体的な検討を行う予定です。</p>	無 P47
28	患者にやさしい施設整備	<p>一番に感じたことは、全室個室化はとても残念だと思いました。個室の入院費は相部屋より高く、個室でひとりで過ごす時間が長いと、精神的にふさぎこみ弱ってしまうのではないかと思います。感染管理への配慮と記載がありましたが、ウイルスの感染は人から人への感染が一番多いと聞いたことがあります。全室個室としても、巡回される看護師さんや食事の配膳スタッフの方などの手によって、ウイルスが各個室に広がってしまうのではないのでしょうか。相部屋での患者様同士の交流があれば、治療に前向きになれるかと思えます。それと個室それぞれのドアノブを除菌する手間が省けると思うのですが…。まるで看取り専門のホスピスのような印象もあり残念です。</p>	<p>【今後の検討課題】 個室化による室料差額(個室料)は基本無料を検討していますが、経営状況や地域の実情等を踏まえ一部を有料個室として設置することも検討していきます。院内感染につきましては可能な限り防ぐという意味でも建物的な対応が必要とされています。人と人との感染についても全てを防ぐことは困難ですがスタッフの感染防止対策は引き続き徹底してまいります。</p>	無 P47

29		「患者に～」という観点から、患者にとって同居の家族や近親者は迷惑をかけたくない大切な存在です。その人たちが休める・食事をとれる場所が病院内には本当にありません。あまりにも患者中心過ぎると思います。患者を含め、患者に関わる全ての人が癒されるよう、美味しい食堂、テーブルと椅子が沢山あるホールがあると理想だと思います。お世話する人がコンビニ弁当では切なすぎます。美味しい食の提供は是が非でも必要だと思います。	【今後の検討課題】 病院利用者や職員のサービス向上を図るための付帯施設は、利便性や経済性の観点を踏まえ、売店や自動販売機、イトインスペース、休憩スペースを設置する計画としています。設置場所、規模等については設計の発注段階で検討します。ご意見はその際の参考にさせていただきます。	無 P47
30		新病院の玄関は車椅子等の来院者に配慮して、大きな庇付の車寄せを希望します。また、運転者が駐車場に車を駐車している間に車椅子の来院者を屋内に誘導していただける方の配備もできればありがたいと思います。	【今後の検討課題】 ご意見は、今後、設計の発注段階で検討する際の参考にさせていただきます。	無 P47
31	災害に強い施設整備	食料や薬剤の十分な確保、備蓄を是非お願いします。災害時、緊急時の素早い対応で大切な命を守ってください。医療従事者のスタッフの皆様には、とても感謝しています。いつも頭が下がる思いです。新病院がより素晴らしい場所となることを願っています。	【基本計画(案)の主旨に一致】 災害発生時においても継続して医療を提供するための施設整備を計画しています。設計の発注段階においても明記していきます。	無 P47
32	街づくりを考慮した施設整備	「街づくり～」という観点から、駐車場及び駐車場を出た周辺環境の整備も視野に入れて欲しいです。予定地は田園地帯であり、そこに薬局等の建物が乱立することになると、街づくりとして病院だけがある場所になってしまいます。患者だけでなく患者を取り巻く人たちが一息入れられる場所、ホッとできる遊歩道、歩いてリハビリができる歩道、入院患者が山を見て日向ぼっこできるようなベンチが駐車場の外に点在する環境が理想的だと思います。ぜひ駐車場の外に、患者さんが安心して歩き、立ち止まれるスポットを考えてはどうでしょうか。	【今後の検討課題】ご意見は、今後設計段階で検討する際の参考にさせていただきます。	無 P47
33	計画条件等 建設候補地	建設候補地選定の前提条件として「交通アクセスが良いこと」とあるが、最寄り駅の伊那福岡駅からは徒歩15分。駒ヶ根市内はロープウェイバスしかおとておらずそれを利用して通院している方もいるかと思うが、候補地方面にはバスが通っていないため交通弱者の利便性についてはどのように考えているか。通院にかかる交通費の増加も懸念される。自分で運転できない方などの通院手段の確保はどのようになっているか？さらに、高速道路から遠くなる。加えて、中央アルプスの玄関口で多くの登山者が訪れる。登山による負傷者も増加傾向に感じるが、搬送の遅れが心配。看護大学も近く、実習するには現在の場所が最適だったと考えられる。感染管理など学べる看護大学が病院の近くにあったことはよかったです。図書館も利用でき、連携も図りやすかったと思うので今回の場所は大学からも遠く残念。	【今後の検討課題】 現病院を含め多くの病院で交通弱者の通院手段に関する課題を抱えています。通院手段としての循環バス等については、公共交通網の整備に関わる事項になりますので、市町村とともに今後検討することになります。登山者の負傷につきましてはドクターヘリ等を利用し近隣医療機関との連携のもと引き続き対応していくこととなります。看護大学との距離に関しましては今回ご意見として承ります。	無 P48

34		中央自動車道路からのアクセスが不安です。駒ヶ岳 SA スマートインターからのアクセスを関連道路の拡幅、直線化等でよくして欲しい。	【その他】 ご意見は、所管する駒ヶ根市等へ伝えてまいります。	無 P48
35		伊那福岡駅からの距離がありすぎ、電車による通院が難しいです。高齢者の通院も多いと思われます。最初から車による通院を想定した場所への新病院建設はいかがでしょうか。	【今後の検討課題】 公共交通網の整備に関わる事項になりますので、市町村とともに今後検討することになります。場所については、駒ヶ根市内の複数個所を、実現性や利便性、経済性、環境性の観点による検証や考察に時間をかけて絞り込みを行い選定しています。従って今回は、ご意見として承ります。	無 P48
36		現在第2次高校再編計画が進んでいます。話いかんによっては現駒ヶ根工業高校は上伊那総合技術高校として別の地積に移転する可能性があります。平成 5 年度中には決まると思うので、それを待って決定しても遅くはないと考えます。移転後の跡地は10万平米の県有地となります。こちらへも候補地として検討してはどうでしょうか。駅からもスマートインターからも近く、新病院設置場所として最適と思います。	【その他】 建設候補地については、駒ヶ根市内の複数個所を、実現性や利便性、経済性、環境性の観点による検証や考察に時間をかけて絞り込みを行い選定しています。従って今回は、ご意見として承ります。	無 P48
37		建設候補地について、とても駒ヶ根のどこ？って感じです。皆と話してどこのことという人が多いです。しかも中央道から遠いし駒ヶ根高原からも遠いし、事故があった時遠すぎませんか。ヘリポート、透析センター、健診センターはまだ新しいですよ。もったいない、残すことはできないのですか。		無 P48
38		通院の交通手段。バスなどがあるとありがたいです。	【今後の検討課題】 公共交通網の整備に関わる事項になりますので、市町村とともに今後検討することになります。	無 P48

医療情報システム整備方針

39	今後の展望	オンライン診療環境	IT を活かした、Online 診療は、出来る設備は計画していますか？	【基本計画(案)の主旨に一致】 ITは活用する計画ですが、IT技術は医療分野におきましても、日々進化を続けていますので、オンライン診療等に関する導入設備等具体的な整備範囲は引き続き検討していきます。	無 P52
40		最新技術を活用した医療サービス	患者が、何回も受付を通過しなくてもよいシステムを構築してください。初めの受付だけで、会計まで出来るように。	【今後の検討課題】 患者さんの利便性向上を図る上でも重要な点だと考えますので、ご意見は今後新病院の運用を検討する際の参考とさせていただきます。	無 P52

今後の検討課題	27
基本計画(案)の主旨に一致	3
その他(質問、現状への意見等)	9
反映する意見	1
計	40